

健診について

視力

検査の目的	近視力検査
使用機材及び備品	視力計・映像サンプル(見本)・延長コード
取扱いの注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースごと会場まで運ぶ。 ・レンズ・電球がついているので衝撃を与えないよう扱う。 ・ケースは床に置きテーブルには乗せない。(テーブルが汚れてしまいます) ・直射日光の当たる場所や水のかかる場所、窓際はさける。 ・平らなテーブル等に設置する。 ・受診者が無理な姿勢をとらずにすむように設置する。 ・AC電源を差し込みスイッチを入れ、電球がつくことを確認する。 ・レンズの汚れをとる。 ・Near・Farのスイッチは Far にする。 必ずFarになっていることを確認する。 ・データが前回と大きく異なった場合、疑問を持ち再測定をする。 ・『視力』の看板を受診者が見やすい位置に掲示する。
始業確認	<ul style="list-style-type: none"> ・電源をONにし、電気がつくか確認する。 ・『Near』、『Far』の切り替えが、必ず『Far』になっているか確認する。 ・感染防止の観点から飛沫防止シートの設置もしくは検査者はフェイスゴーグルをするのが望ましい。
検査の手順	<p>①眼鏡、コンタクトの使用の確認をする。(眼鏡を持っているか確認)</p> <p>②裸眼か矯正のどちらかのみを測定する。</p> <p>③白の部分に額をつけ、両眼でのぞいてもらうよう指示する。</p> <p>③まず裸眼で測定し、数字の下の”C”(機械によっては”E”)の文字の空いている方向を上下左右で答えてもらう。</p> <p>④必ず、右眼から検査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右眼の検査→ハンドルを1に合わせる。 ・0. 7(7番)から検査開始。(去年のデータがある場合は、3つ下から測定を開始する。) →0. 7が見えたら0. 8→0. 9とあげていき、必ず2つ続けて間違える(見えなくなる)まで検査をする。 →0. 7が見えなかったら、0. 4ぐらいまで一気に下げて検査を開始する。 ※0. 4→0. 5→0. 6というように、下から上に上げていく。(0. 6→0. 5→0. 4は不可) ・0. 1も見えなかった場合は0. 1と記入する。(↓は不要) <p>⑤次に左眼を検査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左眼の検査→ハンドルを2に合わせる。 ・以下の手順は右目と同様 <p>⑥必ず2つ続けて間違える(見えなくなる)まで確認すること。</p>
記録方法	<ul style="list-style-type: none"> ・受診票に結果を記入し、担当印欄に押印する。 ・裸眼の場合は視力欄上の”裸眼”に○をし、左側に記入。 ・矯正の場合(めがね、コンタクト)は、視力欄上の”矯正”に○をし、右側の()内に記入。 * ○は検査記入場所に被らない。(その後のOCR読取ができないため) <p>※OCR処理の為、数字は丁寧に記入すること。 記入を間違えた場合は、間違えた数字を二重線で消し、欄外に正しい数字を記入する。(5を無理に6に直したりすると、誤読の原因になるのでしないこと)</p>

記録方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">【裸眼】</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">視力</td> <td style="text-align: center;">右</td> <td style="text-align: center;">裸眼 0 . 7</td> <td style="text-align: center;">矯正 □ - □</td> <td style="text-align: center;">確認 (印)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">左</td> <td style="text-align: center;">0 . 6</td> <td style="text-align: center;">□ . □</td> <td style="text-align: center;">眼鏡忘れ <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">【矯正】 ※眼鏡・コンタクト</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">視力</td> <td style="text-align: center;">右</td> <td style="text-align: center;">裸眼 □ . □</td> <td style="text-align: center;">矯正 1 . 0</td> <td style="text-align: center;">確認 (印)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">左</td> <td style="text-align: center;">□ . □</td> <td style="text-align: center;">1 . 2</td> <td style="text-align: center;">眼鏡忘れ <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">【眼鏡・コンタクト忘れ】</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">視力</td> <td style="text-align: center;">右</td> <td style="text-align: center;">裸眼 0 . 3</td> <td style="text-align: center;">矯正 □ - □</td> <td style="text-align: center;">確認 (印)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">左</td> <td style="text-align: center;">0 . 4</td> <td style="text-align: center;">□ . □</td> <td style="text-align: center;">眼鏡忘れ <input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table>	【裸眼】	視力	右	裸眼 0 . 7	矯正 □ - □	確認 (印)	左	0 . 6	□ . □	眼鏡忘れ <input type="checkbox"/>	【矯正】 ※眼鏡・コンタクト	視力	右	裸眼 □ . □	矯正 1 . 0	確認 (印)	左	□ . □	1 . 2	眼鏡忘れ <input type="checkbox"/>	【眼鏡・コンタクト忘れ】	視力	右	裸眼 0 . 3	矯正 □ - □	確認 (印)	左	0 . 4	□ . □	眼鏡忘れ <input checked="" type="checkbox"/>
【裸眼】	視力			右	裸眼 0 . 7	矯正 □ - □	確認 (印)																								
		左	0 . 6	□ . □	眼鏡忘れ <input type="checkbox"/>																										
【矯正】 ※眼鏡・コンタクト	視力	右	裸眼 □ . □	矯正 1 . 0	確認 (印)																										
		左	□ . □	1 . 2	眼鏡忘れ <input type="checkbox"/>																										
【眼鏡・コンタクト忘れ】	視力	右	裸眼 0 . 3	矯正 □ - □	確認 (印)																										
		左	0 . 4	□ . □	眼鏡忘れ <input checked="" type="checkbox"/>																										
混雑時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の指示で視力計を増やし、応援を出す。 ・イスを用意し腰掛けて待ってもらう。 																														
チェック項目	<ul style="list-style-type: none"> ・眼鏡忘れー運転時だけ使用している受診者も眼鏡忘れに該当する。 ・老眼鏡を使用している場合は、裸眼のみ測定する。 ・前回値と大きく違う場合(その他留意点参照)は本人に確認し、担当印の所の”確認”に○をつける。 																														
受診者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・正確に計るための対応、言葉がけ。 ・映像サンプルの方向の説明。 <p>「めがね、コンタクトを使用していますか？両目をあけてみてください」</p>																														
コース変更時の処置	<ul style="list-style-type: none"> ・検査の拒否をされた場合は、責任者へ報告する。 																														
その他留意点	<p>次のような場合は本人に確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回値と3区分以上違う。(0.9と1.5、0.3と0.6など) ・今回の矯正値と、前回の裸眼値が似ている。またはその逆。 ・前回値がない場合で、左右の値が極端に違う。(例)右1.0 左0.1など。 ・前回値がない場合で、左右の視力が片方でも0.6以下の場合→普段眼鏡をしていないか、または眼鏡を忘れたか。 <p>※確認する際は数値は読み上げず受診票の数値を見せて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者から裸眼・矯正の両方で測定して欲しいとの要望があった場合は、両方を測定し、矯正のみを記入する(裸眼は口頭で伝え、記入はしない) <p>* 前回値がなく裸眼で0.7以上の場合、確認に○を付ける必要はありません。 検査終了後、受診者の接触面をアルコール綿で消毒をする。</p>																														
トラブル時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・電源がつかなくなった →替わりの視力計を使用。電球切れなどの場合があるので、責任者に報告する。(電球は補充箱に入っています) ・何度説明しても映像サンプルの見方がわからない場合 →怒ったり怒鳴ったりしないで、わかるまで説明する。 ・視力が悪くなったと言われた。 →疲れていないかなど確認し、必要であれば再度検査する。 乱視が入っている場合は、5番が見えなくても7番が見える事がある。 																														
故障時の対応 よくある質問	<ul style="list-style-type: none"> ・始業確認時、または検査の途中で機器の故障等があった場合は、直ちに責任者へ報告する <p>Q: この機械はどうなってるの？ A: "C"などのマークが書いてある視力表を、5m離れた所から検査するものと同等の検査です。</p> <p>Q: 画面の下にある日の出の形をした放射状の線は何ですか？ A: 乱視の検査です。各線が違ってみえたら乱視の可能性があります。(あくまでも可能性なので、乱視ですとは言いきらない)</p>																														